

松戸市立寒風台小学校 教育課程説明会

6月9日（木） 13：20～

本日はお忙しい中、ご来校ありがとうございます。

教務主任の東川です。

本日の教育課程説明会では、年間計画の見通しと通知票の2期制のことを中心に話をさせていただきます。

- 1. 学ぶ内容の増加**
- 2. 学級閉鎖等による授業時数の減少**
- 3. 短縮日課の削減による授業時数の増加**
- 4. 短縮日課の削減による利点**
- 5. 個人面談の役割**

私からは大きくこの5点について話しをさせていただきます。

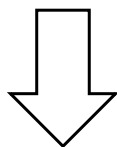
- ・低学年からの外国語学習
- ・松戸市独自の「言語活用科」の学習
- ・タブレットを活用した学習

学ぶ内容が多くなっている

- ・校外学習等、昨年度できなかった行事の復活も

子ども達の学習は、低学年からの外国語学習や松戸市独自の取り組みである言語活用科の学習、タブレットを活用した学習など学ぶ内容が多くなっています。
また、校外学習等の昨年度実施できなかった行事の復活の可能性もあります。

**新型コロナウイルス感染症等の
感染症による学級・学年閉鎖**

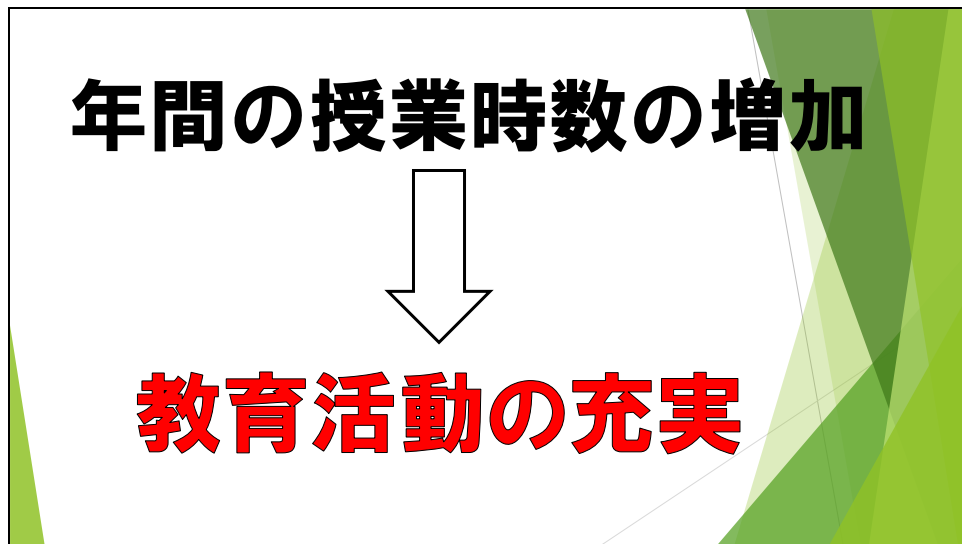


授業時数の減少

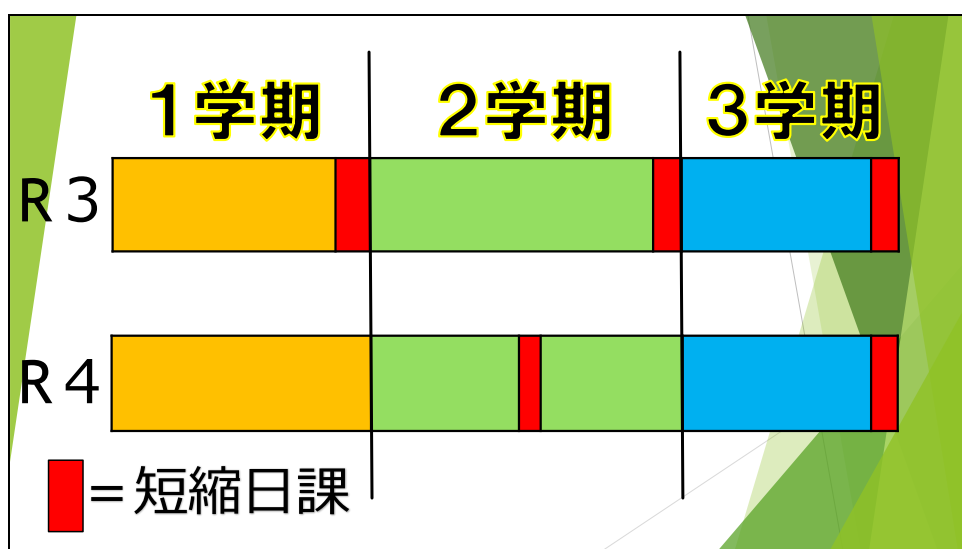
最大19時間の違い

また、新型コロナウイルス感染症等の感染症による学級・学年閉鎖により授業時数の減少が心配されます。

令和3年度では、学級閉鎖による学年間での授業時数の差は最大で19時間でした。



今後、校外学習や特別活動などの行事を実施していくと授業時数を確保する必要があります。そこで、より授業時数を確保して、子ども達の教育活動の充実を考えています。



具体的には、7月、12月の短縮日課を無くして通常授業を行い、通知票を10月と3月の二期制とします。

昨年度の7月と12月の短縮日課による授業時数の減少は、1年生が15時間、2年生が19時間、3年生が24時間、4～6年生は28時間でした。

短縮日課の日数を減らすことで、10月の分の短縮日課を設けても平均すると20時間程度授業時数が増えることとなります。

こつこつとできるときに授業時数を積み上げていくことが可能になります。

昨年度は夏休み明けと冬休み明けにコロナ感染者数が激増し、特に9月は授業が午前中までになったことがあります。

- 7月中旬以降の水泳学習
- 部活動の充実
- 宿泊行事前の家庭学習日の設定
- 給食回数の増加
- 学童、放課後ルーム等への滞在時間の短縮

短縮日課削減により、プールの授業や部活動を終業式ぎりぎりまで行えます。また、時数の増加で林間学園や修学旅行の前日2日間は家庭学習日を設定することができます。このことにより、濃厚接触者というお子さんが出ず、学級・学年閉鎖を理由とする旅行の中止を回避することができます。給食回数の増加も可能です。

さらに、学童やKIDSルーム等への滞在時間の短縮にもなります。

○通知票の内容

1回目:10月配布 → **4月から9月末**

2回目:3月配布 → **10月から3月末**

通知票の内容については、10月配布の1回目が4月から9月末まで、3月配布の2回目が10月から3月末までの成績が記載されます。切れ目のない学習と評価をすることが可能になります。

夏休みの個人面談



今は算数が〇〇なので、
△△△の復習をすると
いいですよ。

なお、1学期の様子については、学習面と生活面について、夏休みの個人面談で担任より詳しく話をします。

例えば、7月の通知票で算数「1」の評価をもらった後で個人面談になるのではなく、「今のままだと算数は「1」に近いので夏休みに〇〇の復習をした方がよいです。」など事前にお知らせした上で10月に評価を受け取ることとなります。その後のがんばりしだいで評価があがってくるかもしれません。

1学期の生活面でお話した改善して欲しい点なども、その後の生活の中で改善されていけば10月の所見にはなくなってくると思います。

評定のための評価ではなく、個々の能力を伸ばすための評価にしていきたいと常々考えています。

以上で私の方からの説明を終わります。